

## 交換留学(派遣) 帰国報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学：	トリーア大学
留学先での所属学部・研究科：	日本学科
留学先での在籍身分：	bachelor
留学期間：	2019年 3月 14日～ 2019年 7月 12日
神戸大学での所属学部/研究科：	国際人間科学部
学年（出発時）：	4年
帰国日：	2019/8/15
本報告書記入日：	2019/11/2



1. 留学先大学について			
1-1	学年開始月日：	10月 22日	
	学年終了月日：	7月 12日	
	学期：	①	10月 22日～ 2月 8日
		②	3月 14日～ 7月 12日
③		月 日～ 月 日	
④		月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	日本語学科ではなく、日本学科があること。学校全体としては、ヨーロッパ歴史学が盛んな印象を受けた。	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。		
	語学面でのサポート：	留学生のみ受講できるドイツ語のレベル別授業が週に3回ある。新学期が始まる前にも三週間の語学オリエンテーションがあり、どれに関してもテストによってクラスが分かれる。A1～C2まで8～10段階に分かれる。一学期で2段階レベルを上げることも可能。	
	勉学面でのサポート：	日本学科の教授方には、レポートを口頭試験へ変更、研究内容のサポートなど、大変お世話になった。	
	精神面でのサポート：	大学からのサポートは特になかったが、日本学科の学生とはタンデム(ランゲージパートナー)を通して交流することができ、授業の課題添削をしてもらったり、週末遊びに行ったりした。友達が多くなったことで、精神的に辛くなることは少なかった。	
	住居・生活面でのサポート：	語学オリエンテーションに、住居登録や銀行登録も含まれており(希望者のみ、語学授業後の活動となる)何の問題もなく生活を始めることができた。オリエンテーション終了後も引き続き留学生科として、相談に乗ってもらえることができる。	
	課外活動のサポート：	部活動が盛んであり、誰でも一定の会費を払うことで参加できる。空手の活動に参加していた。	
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>	
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか？	はい	

2. 住居について		
2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	申請の際にできるだけ細かく記入すること。例：一人部屋or共同生活希望、00寮希望、など。事前に書いたことはだいたい反映される。

3. 生活について		
3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	有線接続可。無線LANなし。Mac以外は有線接続したパソコンから無線LANを飛ばすことができる。寮費に含まれている。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	Wi-Fiあり。無料。ただ上限があるため、足りなくなると課金して増やすことになる。
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	病院には通わなかった。薬局で薬は売っているが、自分の体にあった薬を持参した方が良い。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをされましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	現地口座開設は必須。寮費や授業料を振り込むため。オリエンテーションで開設してくれる。キャッシュパスポートとTuoカードを持って行った。

4. 経費について（奨学金、留学費用）		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名（財団名等）：	JASSO奨学金
	支給額(円/月)：	80000円
	その他（渡航費等の支給）：	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 （概算で結構ですので、円価で記入してください。）	
	航空運賃：	200000円
	住居費：	(月額)25000円 × (留学月数) 5ヵ月 =125000円
	食費：	(月額)20000円 × (留学月数) 5ヵ月 =100000円
	保険料：	60000円
	その他：	200000円
合計（留学期間全体の費用）：		約685000円
5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	スーパーでの買い物の仕方や、公共交通機関の乗車の仕方、また部屋にクーラーがないことなど。初めは戸惑うが、すぐに慣れる。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	週に3回現地学生とタンデムを行っていた。日本学科の授業ではドイツ人と、ドイツ語の授業では他国からの留学生と、寮では同居していたトルコ人と仲良くなった。
	課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）はしましたか。	しなかった。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）	日本かと思うほど、安全で穏やかで過ごしやすい街だった。街の人もよく話しかけてくれる。少しアクセスが悪い。
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	していない。
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。	特になし。
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	肌が弱い人は化粧水や乳液。夏以外は日本より寒いのでヒートテックが役に立った。日本食はメジャーなものは現地で手に入るが値段が高い。
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）	留学前ほとんど話すことができなかったドイツ語で意思疎通できるようになり、最終的にはディスカッションで発言できるようになった。英語、ドイツ語を話すことに抵抗がなくなった。日本で良い行いが海外で必ずしも良いことではないと実感した。他国からの留学生と同居の際は思ったことは毎回はっきり伝えることが重要だとわかった。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前：（ A1 ） 点 → 帰国後：（ B1 ） 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	同居のトルコ人とは基本的に仲が良く楽しく過ごしていたが、相手がルールにアバウトだったこと（ゴミ捨て当番や消耗品の補充など）。悩むのではなく、相手に伝えることが大切。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	適切だった。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	進めます。学習面、生活面ともに環境が良く、学びたいことが学べる環境だった。友達も国籍を問わずできるため、非常に楽しかった。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に教えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか	4
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	4
	・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか	5
	・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか	4
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	5
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
・留学全体の総合的な評価	5	
8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。（800字～）		
<p>留学は主に本場で歴史学や地理学を学ぶこととフィールドワークを目的にしていたが、事前に調べていたよりも英語開講の講義は少なく(英文学以外はほぼドイツ語開講)、研究材料としてはフィールドワークに絞りました。そのため留学前にもっとドイツ語を学んでいればよかったと思います。ただ、ドイツ語の授業とタンデムのおかげでドイツ語が飛躍的に伸びたことや、日本学科でドイツ語開講の授業をとって、ハードな予復習や課題、そして授業内のディスカッションにドイツ語で参加したことは良い経験でした。現地学生のディスカッションへの姿勢はとても積極的で、刺激がありました。また、日々の生活はとても充実したもので、ドイツ人や他国の留学生とたくさん交流したい人には、トリア大学を強くおすすめします。日本学科の学生がイベントを多く企画してくれるため、すぐに友達ができ、私が帰国するタイミングで、日本へ留学へ来た友達とは今は日本でタンデムをしたり、遊んだりしています。ドイツはヨーロッパの真ん中あたりに位置するため、週末に他国に小旅行を手軽にできたことも良かったです。今まで写真でしか見たことがないものを実際に見ることは、いつでも楽しくワクワクするものでした。勉強面や精神面で大きく成長できたかはわかりませんが、ドイツで過ごしたことで、過ごしやすい環境を作る大変さがわかり、自分にとってどんな活動に興味があり、何をしているときに充実しているかを見つめなおす期間になりました。日々新しい発見があり、いい経験だったということだけは断言できるので、少しでも興味のある方は、ぜひ留学してみてください。</p>		